

令和 7 年度 授業改善推進プラン

< 第 5 学年 >

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配当されている漢字を正しく読んだり、書いたりする力 ・ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力 	<p style="text-align: center;">本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 78.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 学年に配当されている漢字を正しく使う ・ 互いの意見の共通点や相違点に着目する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の正しい筆順と形に留意し、反復練習と文脈活用を通して書字力の定着を図る。 ・ 話を聞き、自他の意見を比較して考えをまとめる機会を積み重ねる。 ・ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図を明確にさせる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の国土の特色、産業の発展や環境との関わりを理解し、地域や国全体の姿を多面的にとらえる力 ・ 資料から課題を見出し、自分の考えを根拠をもって説明したり、比較したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統計・グラフや地図を読むまではできるが、読み取ったことをもとに考えること ・ 他者の考えを取り入れて修正・発展させること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題を自分で立て、資料を基に調べ、まとめ、発表をするという探究的な学習プロセスを導入する。 ・ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図を明確にさせる。 ・ 教科書や地図帳にとどまらず、自治体の HP やニュース映像、実際のパンフレットなど、多様な資料を活用する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計算の意味や仕組みを理解し、正確に活用することができる力。 ・ 図形やデータを多面的にとらえ表現できる力 ・ 問題を数理的に捉え、複数の方法で解決を考えたり、解法を比較して適切に選んだりする力。 	<p style="text-align: center;">本校における標準学力調査 CBT 平均正答率 86.0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計算ができるだけでなく、意味や活用場面を説明すること ・ 自分の考えを図や言葉でわかりやすく説明すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただの手順作業ではなく、「なぜそうなるのかを」を対話や操作で確かめさせる。 ・ ペアやグループで考えを出し合い、異なる考え方を交流することで多様な解法に触れ柔軟に考える力を育てる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験、観察などに関する基本的な技能 ・ 問題についての予想や仮説をもち表現し、予想、仮説の結果から考察し、自分の考えを表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決のために、条件に目を向けながら調べ、実験や観察の結果や自分の考えをわかりやすく表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験、観察などの基礎的な技能を身に付けさせるために、個々やグループでの活動時間を十分に確保したり、複数回取り組ませたりする。 ・ 「変える条件」と「変えない条件」を明確にして、予想、仮説、実験計画を立てさせる。 ・ 結果、考察では、条件を変えて行った実験結果を整理し、図や絵などを用いて表現、説明をする。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第5学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・主体的に音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもったり演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりすることができる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・響きのある歌い方で歌う技能。 ・曲想と音楽の構造との関わりを聴きとる能力。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽的な根拠に基づいて、曲がもつよさや演奏者のよさなどについて考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で歌唱しようとする意欲的な姿が見られるが、高い音域も地声で歌い続けようとするため、体の使い方や呼吸法を指導したり、声の響きに留意した歌い方や範唱の歌い方に近づけるような歌い方を試したりする時間を設ける。 ・音楽を形づくっている要素や仕組みを理解できるように説明したり、それらを聴いたりすることで、楽曲の中で出てきたときに聴きとれるようにする。 ・鑑賞だけではなく、歌唱や器楽でも模範演奏を聴いたのち、曲のよさを自分で考えたり友達と話し合ったりする時間を設けることで考えの幅を広げ深めていけるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形の違いを理解し、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。 ・表したいことに向かって創造的に発想や構想を広げ、親しみのある作品などから自分の見方、感じ方を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料、用具の扱い方を定着させること。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具、言葉、色等から創造的に発想や構想を広げられること。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具や材料から想像を広げつくり出す喜びを味わい、主体的に取り組むことができること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の扱い方を徹底し、表し方を工夫し、材料や用具の扱いについて技術の定着を図る。 ・さまざまな材料や用具を使いながら、感じ方や想像したことを基に、創造的に発想や構想を広げられるようにする。 ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、形や色などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住など、生活をよりよくしようと工夫する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として進んで協力しようという気持ちに乏しい ・手縫いをするための基礎的な技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から問題を見出して様々な解決方法を考えさせるとともに、学習した知識・技能をもとに、実践的な活動を家庭や地域で行えるようにする。 ・衣服の着用と手入れ、生活を豊かにするための布を用いた製作の2項目を関連させ、初めての手縫いやミシン縫いによる目的に応じた縫い方を身に付けさせる。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第5学年>

体育	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な運動技能やゲームのルールを正確に理解し応用できる力 グループでの役割理解や情報伝達、チームでの戦略構築を通して共同に課題解決する力 	<ul style="list-style-type: none"> 運動能力や体力差により、基本運動技能の定着度に個人差が大きいこと。 チームプレーにおける情報共有、役割調整、相互評価の経験が限定的。 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルを繰り返し児童の習熟技能度を把握することで、個別補助、発展課題を設定する。 ペアや小グループで作戦を立案させる際には役割を交代させる。振り返りシートやICTツールは共有をすることで意見交換を可視化する。
国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な語彙、表現、文法を理解し、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランスよく身に付ける 異文化理解やコミュニケーションの楽しさを感じ、積極的に表現しようとする姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> 単語や文章の暗記に頼っており、実際の会話で使う力や表現力に偏りがある ペアでのやり取りや意見交換が限定的であり、応用力や発展力が育ちにくいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を使用することで、自分の発音を振り返り、表現力を高める。 ペアでの活動だけでなく、小グループでロールプレイを行うことで互いの発話を評価フィードバックさせる。
道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 自分事として考え、多様な考えに触れることで、より自分の考えを深めることができる力 	<ul style="list-style-type: none"> 物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らを振り返って成長を実感したり、これからの自分の在り方を考えたりするために、多様な考えに触れ、自分の考えを深めた上で話し合いを行う。 多様な見方、考え方でできる事柄について、特定の意見や考え方に偏りがないよう、本時の内容項目を意識した指導を行う。
特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校のルールを理解し、集団の中での自己調整力や友人との協働、共感する力 クラスでの係活動だけでなく、クラブ活動、委員会活動などでの問題発見、課題解決能力、企画運営能力 	<ul style="list-style-type: none"> 活動への参加意欲や責任感に差があり活動の効果に偏りが生じやすい 異なる学年の友人とかかわることに抵抗感をもっていること 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自ら役割や目標を考え、主体性や当事者意識を引き出す活動設計をおこなう。 教員が異学年児童のコミュニケーションの橋渡しを行い、児童が安心して主体的に活動に取り組める環境を整備する。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第5学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題を見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ、表現する力 ・学習したことを、自分の将来に役立たせようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程で、情報を取捨選択・整理・分析すること ・調べた情報をまとめる際に、目的に合った表現方法を選択すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをポスターやICT機器を活用してまとめ、ポスターセッションやプレゼンテーションの形式で、発表する。